

民法 総則・物権〔第6版〕

山野目章夫

2017年7月発売／278頁／本体1800円＋税
四六判／並製



編集
担当者
から

民法のうち、総則編と物権編を、コンパクトに、わかりやすくまとめた一冊です。基本となるキーワードは「人」、「所有権」、「契約」。そこを押さえたら、「法人」、「担保物権」、「代理」、「時効」、といった応用編へ展開する、という流れになっています。わかりやすそうでしょう？ このたび成立した改正を織り込んだ新しい版を早速お届けします。今回の改正は、原則として3年後に施行されますのでご注意ください（正確には、「本書を読む前に」の末尾を見てください）。改正の影響が大きかった章は、契約の章と時効の章ですが、著者は、改正の議論に最初から中心となって参加しておられたので、安心して読んでいただけたらと思います。ところどころにちょっとした著者の遊び心が垣間見えるのも本書の魅力です。初学者には入門書として、上級者には絡まった知識をすっきり整理するのに役立つことと思います。本書も初版刊行から17年。人気と実力を兼ね備えた一冊です。（YF）

Index



基礎から展開へ。自然な流れで解説します。

はじめに 民法を学ぶための
三つのキーワード

PART 1 基礎

第1章 第一のキーワード—人

- 1 民法における個人のとらえかた
- 2 権利能力
- 3 意思能力と行為能力

第2章 第二のキーワード—所有権

- 1 所有権の概念
- 2 所有権の効力

第3章 第三のキーワード—契約

- 1 契約とその効力
- 2 契約に基づく不動産の物権変動
- 3 契約に基づく動産の物権変動

PART 2 展開

第4章 法人

第5章 担保物権

第6章 代理—そして法律行為を学ぶ

第7章 時効

おわりに 民法を楽しく学びつづけるための
読者への三つのアドバイス